

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
令和3年度 実施報告会

報告書

令和4年7月11日

実施概要・実施実績

実施概要

- 名称 大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
令和3年度実施報告会
- 開催日程 令和4年6月18日（土）
- 開催時間 10：00～12：00
- 開催場所 大野城心のふるさと館 2階講座学習室
- 実施内容 第1部：実施報告会
【発表団体】・栄町 人とねこの幸せの会
・ONOROにやっとわーく
・スペースドリーム大野城
第2部：講演会
講師 立花 祐平氏（パトランJAPAN代表）
まちづくり相談会（講座学習室入口付近にて）

実施実績（結果）

■来場者数 35名

■相談会ブース

相談団体数	2団体
-------	-----

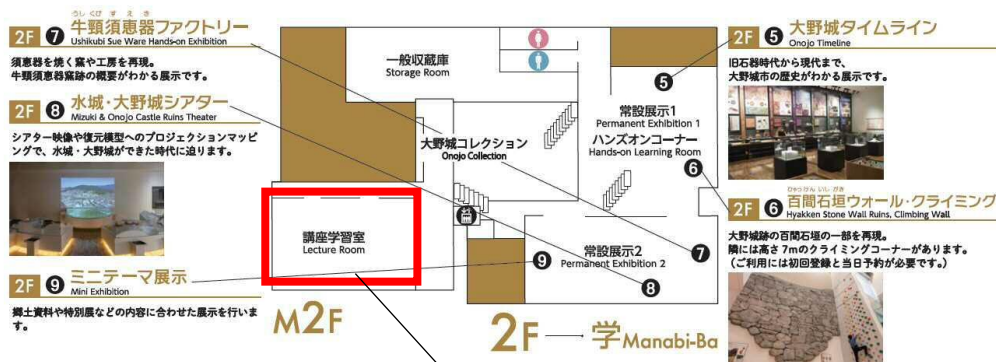
会場概要

会場(全体)



- 会場名 大野城 心のふるさと館
- 住所 大野城市曙町 3-8-3
- アクセス 西鉄春日原駅より徒歩 12 分
JR大野城駅より
コミュニティバスまどか号大城ルート乗車
「まどかぴあ」下車すぐ

会場(詳細)



- 会場 M2 階 講座学習室

会場レイアウト・記録写真



タイムスケジュール

当日プログラム

- 10 : 00～ オープニング・開会挨拶
- 10 : 15～ 令和3年度 実施報告会
1. 栄町 人とねこの幸せの会
 2. ONOJO にゃっとわーく
 3. スペースドリーム大野城
- 11 : 00～ 講演会 講師：立花 祐平氏
「市民のチカラとアイデアで取り組む地域活動」
- 11 : 50～ エンディング・閉会挨拶

開会挨拶

NPO 法人共働のまち大野城
理事長 穴井 芳春



事業説明

事業説明

動画にて事業説明（４分 27 秒）を行い、その後質疑応答を行った。



ファンド事業とは？

「地域のためになる活動」や「地域課題解決のための事業」を主体的に実施する市民団体などに対して、事業経費の一部を予算の範囲内で助成する制度です。関係機関・団体との調整や活動に関するアドバイスなど側面的支援も行っています。

令和3年度 実施報告会

団体名／**栄町 人とねこの幸せの会**

事業名／人とねこが住みやすい街づくり

当事業利用／３年目

野良猫を「地域猫」として、人とねこが住みやすい地域を目指して活動している。

●活動内容

- ・地域猫を健康にするための餌やりと水のお世話
- ・TNR 活動（保護し、不妊手術をして地域に戻す）

●令和３年度活動実績

避妊去勢手術	16 匹
子猫保護	10 匹
事業費	240,387 円 (内助成金 200,000 円)



活動の様子

団体名／**ONJOにやっとわーく**
 事業名／心をひとつにきれいな街づくり
 当事業利用／2年目

市内の子猫殺処分や地域猫に関する苦情を
 ゼロにし、安心して住みやすい環境づくりを
 行うことを目的に活動している。

●活動内容

- ・子猫の遺棄や虐待を受けた野良猫の保護活動
- ・SNSを活用し、里親に引き渡す

●令和3年度活動実績

保護猫数	15匹 (全て里親へ引き渡し)
------	--------------------



Instagramにて里親募集

団体名／**スペースドリーム大野城**
 事業名／宇宙の学校®
 ～つなぐ、子どもの夢と未来を～
 当事業利用／1年目

大野城市の子どもや若者に夢を持つことの
 大切さや素晴らしさを知ってもらい、将来に
 向かって羽ばたいてもらうことを目的に活動
 している。

●活動内容

- ・スクーリング「宇宙の学校®」
- ・指導者セミナー

●令和3年度活動実績

スクーリング「宇宙の学校®」開催回数	3回
参加者数 (会場：大野城心のふるさと館、東コミュニティセンター)	38名



「宇宙の学校®」の様子

講演会

講演タイトル／

「市民のチカラとアイデアで取り組む地域活動」

講師／認定 NPO 法人改革プロジェクト 立花 祐平氏



内容／コミュニティの形成が時代とともに変化しつつある中で、地域活動をどのように続けていくのかを、活動をはじめたきっかけから団体の運営まで、自身の経験したことを話していただいた。

昭和時代は地域でのつながりが強かったが、平成時代にはSNSの普及もあり、人が繋がる選択肢が多様化した。一方で、地域コミュニティが脆弱になり、地域における人とのつながりが希薄となり、つながりの格差も生じている。また、令和時代においては新型コロナウイルスの影響から「孤立」する人が増えている。今後は「孤立」が引き起こすさまざまな社会課題を地域活動においても取り組んでいく必要がある。

地域活動においては、継続することが最も重要である。継続するためには維持しなければならないポイントが3つある。1つ目は地域活動において結果よりもプロセスが重要であり、活動者のモチベーションを維持することが重要となってくる。2つ目はクオリティの維持である。活動をする際に第3者との連携や活動を定期的に振り返ることでよりよい活動を行うことができる。3つ目は資金の維持である。助成金の活用や活動に対しての支援者を獲得しなければならない。地域活動は、共感の世界である。描きたい世界を言葉にした上で、同じ思いの人たちと協力しあい、よりよい活動にしていってほしい。

市長挨拶

大野城市

市長 井本 宗司様



閉会挨拶

NPO 法人共働のまち大野城

副理事長 高山 やす子



相談会

相談会詳細

- 名称 まちづくり相談会
- 日時 6月18日(土)
10:00~12:00
- 内容 地域活動に関する相談会

相談会の様子



制作物（チラシ・ポスター）

チラシ・ポスター

報告会チラシ・ポスター デザイン

**大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
令和3年度 実施報告会** 参加無料



日時：令和4年 6月18日(土) 10:00～12:00
場所：大野城心のふるさと館 2階 講座学習室

第1部 相談会も同時開催

<令和3年度 実施報告会>
・栄町 人とねこの幸せの会（人とねこが住みやすい街づくり）
・ONQJOにやっどわーく（心をひとつにきれいな街づくり）
・スペースドリーム大野城（宇宙の学校へつなぐ、子どもの夢と未来を〜）

第2部

<講演会>
「市民のチカラとアイデアで
取り組む地域活動」
講師：立花 祐平氏
パトランJAPAN代表

福岡県伊万里市出身
東福岡高校、早稲田大学商学部商学科卒業。
2003年株式会社ONQJOに入社。大野城のまちづくりを
2010年に退社、福岡にて起業。ONQJOを立ち上げる。
2014年に退社。現在、大野城を拠点に、
2019年一般社団法人「大野城まちづくり」を設立。代表理事を兼任。

<お問い合わせ先>*申込みは不要です。
南/パートナーシップ活動支援センター(南コミュニティセンター内) ☎092-596-0686
中央/パートナーシップ活動支援センター(中央コミュニティセンター内) ☎092-573-3127
東/パートナーシップ活動支援センター(東コミュニティセンター内) ☎092-504-1428
北/パートナーシップ活動支援センター(北コミュニティセンター内) ☎092-513-0099

プログラム

10:00～ ・オープニング・開会挨拶
10:15～ ・令和3年度 実施報告会
1. 栄町 人とねこの幸せの会
（人とねこが住みやすい街づくり）
2. ONQJOにやっどわーく
（心をひとつにきれいな街づくり）
3. スペースドリーム大野城
（宇宙の学校へつなぐ、子どもの夢と未来を〜）

11:00～ ・講演会
「市民のチカラとアイデアで取り組む地域活動」
講師：立花 祐平氏 / パトランJAPAN代表

11:50～ ・エンディング・閉会挨拶

パトランJAPAN

「パトラン」とは、防犯パトロールとランニングを掛け合わせた造語で、地域の安全を守る今までにない新しいスタイルの防犯活動です。
私たちは、子どもや女性が安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、2013年福岡県宗像市でスタートしました。現在、日本全国41都道府県で活動を展開しています。「地域の安全」だけでなく「健康づくり」「人とのつながり」を実現する一石三鳥の効果を生むことができます。

まちづくり相談会

まちづくりのために何かできないか、こんなことをしてみたい等、なんでもまずは相談してみませんか。
6月18日同時開催中、お気軽にお立ち寄りください。

相談会チラシ・ポスター デザイン

2022

**まちづくり相談会
開催します**

日時：令和4年 6月18日(土) 10:00～12:00
場所：大野城心のふるさと館 2階 講座学習室

まちづくりのために
なにかできないか、こんなことをしてみたい等
まずは相談してみませんか

今回は、『大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業令和3年度実施報告会』
の会場内で相談会を行います
お気軽にお立ち寄りください

この街のためになにか
やってみよう

仲間を増やしたい

ボランティアに
ついて知りたい

運営：NPO 法人 共働のまち大野城

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業令和3年度実施報告会同時開催

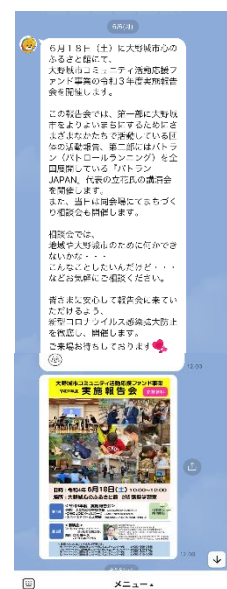
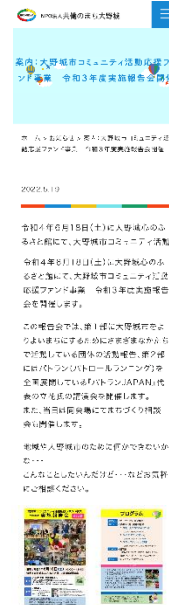
<お問い合わせ先>*申込みは不要です。
南/パートナーシップ活動支援センター(南コミュニティセンター内) ☎092-596-0686
中央/パートナーシップ活動支援センター(中央コミュニティセンター内) ☎092-573-3127
東/パートナーシップ活動支援センター(東コミュニティセンター内) ☎092-504-1428
北/パートナーシップ活動支援センター(北コミュニティセンター内) ☎092-513-0099

「一言」

事前告知

事前告知

- 共働のまち大野城 ホームページ
- 共働のまち大野城公式 L I N E
- 共働のまち大野城 facebook
- 各コミュニティ通信
- 大野城市市報



ポスター・チラシ配架先

- 各コミュニティセンター館内
- 大野城市内公民館
- 各地域包括支援センター
- 大野城市役所
- 大野城心のふるさと館
- 大野市内郵便局
- にぎわいづくり協議会
- スポーツデポ太宰府インター店

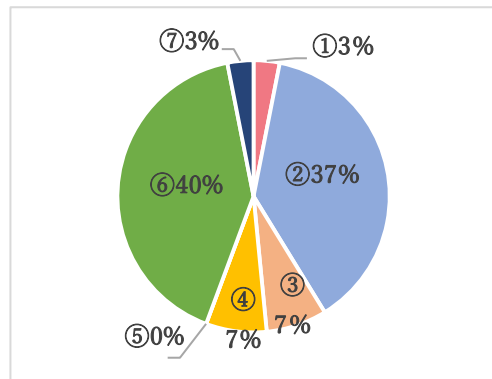
来場者アンケート

集計結果

アンケート回答者 27 名（市内居住者 18 名／市外居住者 9 名）

Q1. 報告会を知ったきっかけ

項目	回答	割合
1.前回の報告会	1	4%
2.コミュニティセンター	10	37%
3.コミュニティ通信	3	7%
4.市広報	3	7%
5.近くを通して偶然知った	0	0%
6.その他	11	41%
7.未回答	1	4%



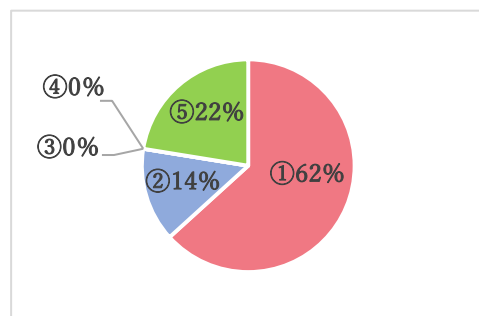
※「6. その他」と回答した方

- ・ 知人からの紹介
- ・ HP を見て
- ・ 団体の紹介
- ・ 仕事の関係

「6. その他」の回答が一番多く、知人や団体の紹介や法人の HP を見るなどさまざまな方法で報告会を知った方が多かった。今回行った周知活動は HP や SNS、コミュニティ通信での事前告知、またコミュニティセンター館内や市内施設にてポスターやチラシを掲示したことで効果があったと感じている。一方で、「6. その他」の回答で「仕事の関係」という答えた人のように、当日は一般の方よりも関係者の割合も多かったため、今後は、一般の方々にも来ていただけるような周知方法を検討していきたい。

Q2. 報告会の全体的な内容について

項目	回答	割合
1.良かった	17	63%
2.やや良かった	4	15%
3.どちらでもない	0	0%
4.良くなかった	0	0%
5.未回答	6	22%

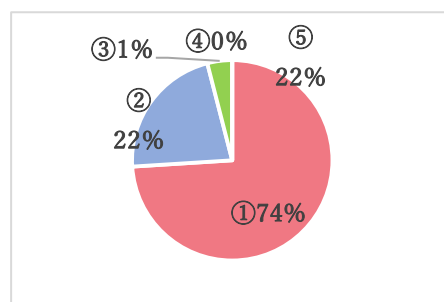


※上記を回答した理由

- ・各団体の活動報告が良かった
- ・報告時間が程よい
- ・興味深い報告内容で、新たに活動する参加者が増えそうな気がした
- ・全体の流れがよく分かりやすかった（最初の紹介 VTR から）
- ・まちづくりを行う上で、色々なヒントやアイデアがあり、モチベーションが上がる構成であった

Q3. 事業報告された「栄町 人とねこのしあわせの会」について

項目	回答	割合
1.良かった	20	74%
2.やや良かった	6	22%
3.どちらでもない	1	4%
4.良くなかった	0	0%
5.未回答	0	0%

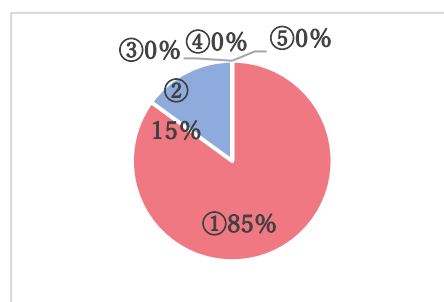


※上記を回答した理由

- ・ファンド事業最後の年度とのことだが、これからも地域に根強い活動をしてほしい
- ・とても分かりやすい活動報告でした。
- ・ねこと人が住みやすいまちづくりのために活動しているのがよくわかり、公益性の高い活動だと思った。補助金などの継続が必要だと思った。
- ・地域との連携もしっかりされている点がよい
- ・毎日誠実に活動されていることが伝わりました。

Q4. 事業報告された「ONJOJO にゃっとわーく」について

項目	回答	割合
1.良かった	23	85%
2.やや良かった	4	15%
3.どちらでもない	0	0%
4.良くなかった	0	0%
5.未回答	0	0%



※上記を回答した理由

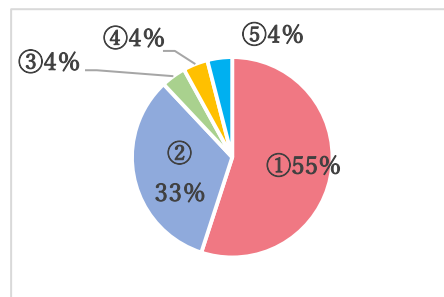
- ・ねこたちの命を救う素晴らしい活動だと思った
- ・1つの地域だけではなく、市内全域での活動お疲れ様です。
- ・残虐な虐待などがあるのは残念である。子猫の活動を通して、子どもたちへの命の尊さを伝える教育・啓発が必要だと感じた。
- ・猫を愛する気持ちが伝わってきた

・小さな命を守っていること、里親を見つけて幸せな暮らしへ繋げていることに感銘を受けた。

・ボランティアとして「個」を超えていて素晴らしい

Q5. 事業報告された「スペースドリーム大野城」について

項目	回答	割合
1.良かった	15	55%
2.やや良かった	9	33%
3.どちらでもない	1	4%
4.良くなかった	1	4%
5.未回答	1	4%



※上記を回答した理由

・子どもたちの夢を育む素晴らしい活動だと感じた

・家庭での活動を加えることで親子と一緒に夢を叶える。そのために話したり考えたりする時間をもつことに繋がる活動だと感じた

・普段体験できないことを体験して、夢が広がるというコンセプトが素敵です。私もやってみたいです。

・自分の心にも火が付いたように思う。子どもの科学・理系離れが進む現代に一石投じてください。

・50代でも夢を追う気持ちが湧いてきました

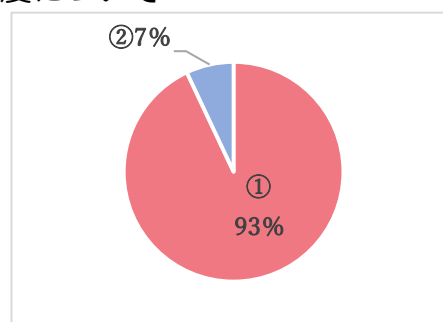
・R4年度の“宇宙の学校®”も楽しみにしています。

・公益性が見えづらかったのが残念。(分からなかった)

「1. 良かった」「2. やや良かった」の回答が約7割を占めており、大変好評であったと感じている。今回は、団体や講師の活動報告や地域活動に対する思いなどを感じてほしいことから、敢えて資料を最低限にしたことも良かった。但し、団体による活動報告の仕方については、団体によって差が生じた。今後は報告団体も多くなることも踏まえ、報告の仕方を検討する必要がある。

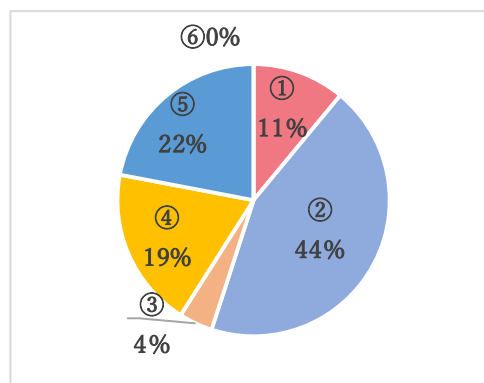
Q6. コミュニティ活動応援ファンド事業の制度について

項目	回答	割合
1.知っていた	25	93%
2.知らなかった	2	7%



Q7. Q6で「知っていた」と回答した方へ、どのようにして知りましたか。

項目	回答	割合
1.報告会	3	11%
2.コミュニティセンター	12	44%
3.コミュニティ通信	1	4%
4.市広報	5	19%
5.その他	6	22%
6.未回答	0	0%

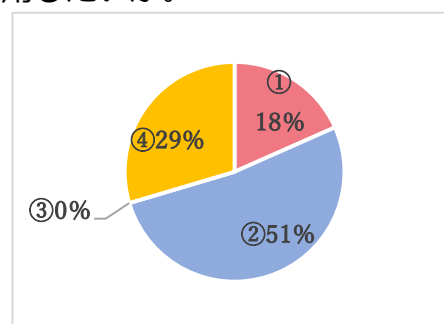


※上記を回答した理由

- ・市の説明
- ・仕事の関係
- ・区で聞いた
- ・報告団体から聞いた

Q8. コミュニティ活動応援ファンド事業を活用したいか。

項目	回答	割合
1.ぜひ活用したい	5	18%
2.どちらでもない	14	51%
3.活用したいと思わない	0	0%
4.未回答	8	29%



※上記を回答した理由

【2.どちらでもない】

- ・立場上難しいが、活用できるなら何かやってみたい
- ・ボランティア活動の継続性に疑問が残る

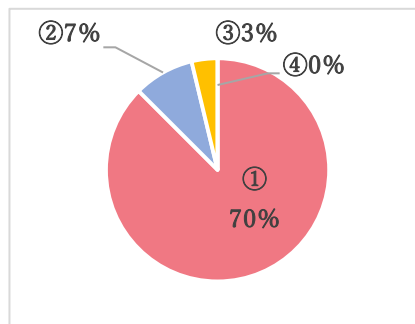
【4. 未回答】

- ・この事業の認知度が気になる
- ・良い活動に対しては、広がりがあると嬉しい

報告会の参加者の9割の方が当事業の制度については知っていた。一方で、当事業の活用については、「2. どちらでもない」と答えた方が約5割だった。今後の報告会においては活用したいと思える内容を検討していき、当事業の目的である“地域活動の活性化”を図っていきたい。

Q9. 講演会「市民のチカラとアイデアで取り組む地域活動」について

項目	回答	割合
1.良く分かった	19	70%
2.やや分かった	2	7%
3.どちらでもない	1	3%
4.分からなかった	0	0%
5.未回答	5	18%



※上記を回答した理由

- ・ 志高く、楽しく明るく活動されてるのが分かった
- ・ 市の本来のプロセスを考える上で参考になった
- ・ 人としての魅力に感銘を受けた。
- ・ 今後とも団体の活動について関心を持ってみたい
- ・ 地域活動だけでなく、普段の仕事などにも生かせる内容が多く勉強になった

「1.良く分かった」「2.やや分かった」と回答した方が約8割を占めており、講演会については大変好評だった。参加者からは「講演会で聞いたことを自分が行っている地域活動に活かしたい」という意見もあり、今回の講演会が地域活動に繋がったと感じている。今後も参加者が地域活動を行う上で参考になるような企画を考えていきたい。

総括・所感

報告会においては、新型コロナウイルス感染拡大のため一昨年・昨年と二年連続で通常開催をすることができず、書面での開催というかたちとなった。本来報告会の目的である当事業活用団体の活動報告の機会を提供することにあたり、現代においては様々なツールにて伝えることもできるが、やはり地域のために活動している団体の方々の思いや活動を直接目で見て、聞いてほしいという思いから今回、コロナ感染拡大防止対策を踏まえながら開催に至った。また、報告会に参加した人や団体が、地域活動への参加促進及び活動の活性化が図れるよう、今回は他市で積極的に地域活動に取り組んでいる認定NPO法人改革プロジェクト代表の立花氏による講演会を企画した。

当日は全体的にスムーズに報告会を終えることができ、35名に参加いただいた。アンケート結果においても、約8割の参加者の方々が、報告会の内容を良かったと感じており、高い評価をいただいている。しかしながら同会場において開催されている他イベントとの調整や、報告団体の報告の仕方など課題が残った。次年度は発表団体も増える予定であるため、会場や限られた時間でどのように実施するのかを今回の報告会の反省を活かして、検討していきたい。